

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

観光学の勉強がしたく、観光学の授業を展開している大学を探したところ、同志社女子大学が自分の学力に合った大学だったからです。また、女子大というところもあり、おちついた大学生活がおくれるのではないかなと思ったところも理由です。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

部活と学園祭のことでとても忙しかったので、塾で授業を受けて、学校の塾の課題をこなすことで毎日が精一杯でした。英単語も毎日勉強ができませんでした。世界史は塾で授業を受けている段階で流石を理解するために授業の復習をしていました。

〔夏休み〕

夏休みには同志社女子大学を受験することを決めたので、一年分だけ過去問を解いてみました。その時解いたのは推薦の問題でしたが、英語の穴あけが全くできませんでした。英語は毎日の英単語と毎日一題は長文を読み、文の構造を意識するようにしました。国語は古文単語と平行して毎日現代文と古文の文章を一題ずつ解きました。世界史は授業の復習と平行して資料集を使いながら暗記作業に入りました。

〔2学期～入試直前〕

夏休みからあまり変わらずに勉強を続けました。私の推薦で不合格でしたが推薦の直前は英国の長文を過去問に変えて勉強していました。9月のはじめに英語のイディオムの勉強を、12月くらいに英文法の勉強を強化しました。国語はセンターの過去問と大学の過去問を解いて、復習してこのことをくり返しました。世界史は夏休みと変わっていません。入試一ヶ月前くらいに本格的に過去問を解くはじめました。解いたら何割とれたか計算して記録していました。英語の長文で知らない単語が出てきたらチェックして単語カードを作って覚えました。世界史は間違えた問題はかりをノートにまとめ、何度も解き直しました。入試前日まで続けたのは英単語と英語のイディオムでした。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

受験勉強ももちろん大切ですが一生に数回しかない学祭もとても大切だと思っていたので、学祭の期間はおもいっきり楽しみました。そのメリハリがとても大切だと思います。部活をしている人は部活を最後まで頑張るべきです。部活で身につける精神力は絶対受験で役に立ちます。塾に行っているとき、家でご飯が食べられないので、食事のバランスに気を使い野菜もしっかり食べるようにしました。テレビは塾から帰ってきたドラマを見ることを楽しみにしていました。スマートフォンは親と連絡する以外には使えないようにスクリーンタイムという機能を活用して、朝の9:00から夜10:00までは使えないようにしていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

毎日同じことが続いて、いくら受験後に楽しみがあるとしても、うまくやる気が出ないときがあると思います。なので本当に小さいことでも何か息抜きできることを作っておくことを思いま。あと、毎日の計画を立てることも大切だと思います。その日の朝に「今日は何しよう」と考えているのは、時間がもったいないです!! 頑張ってください!!